

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	「就労学習型」放課後等デイサービス Reno wellness kids 東本町教室			
○保護者評価実施期間	令和7年12月9日 ～ 令和7年12月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和7年12月9日 ～ 令和7年12月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置人数は多く配置されていると思われます。	職員間での細やかな情報共有や、支援内容についての話し合いを密に行うことが出来る。また、プログラムに応じて、全体指導だけでなく、個別対応、グループワークなどにも対応出来るため、幅広い療育を提供できる。	職員の役割が偏らないように、個別対応する職員や全体を指揮する職員をその都度変える。製作や運動が得意な職員などが同じ作業の担当にならないようにまんべんなく知識や技術を得られるようにしている。
2	活動内容を毎日変えている。	活動内容は変えているが、その月のおおまかなテーマを決め、テーマに沿ったプログラムになるようにしている。	毎日プログラムを変えているが、学んだ内容が定着するように、習熟度に応じて定期的に実施できるよう計画を立てている。また、他のプログラムと連携をしたり、内容を補足するような形で実施している。
3	理学療法士や公認心理師を配置している。	理学療法士や公認心理師の意見を取り入れながら、プログラムや支援の方向性を決める。必要に応じて公認心理師の聞き取りやカウンセリングを実施している。	日頃から丁寧なアセスメントを心掛け、職員間で専門的知識の共有に努めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーでない箇所がある。	義足を使用している肢体不自由のお子様は、段差を上げることに困難を生じ、移動だけで体力を消耗してしまい、その後の活動に支障をきたしてしまう。現状建物の改築は難しい状況である。	移動による疲労に関しては、理学療法士の監修のもと負担の少ない介助の仕方を共有している。
2	開所して間もないため、地域との関わりがまだ少ない。	事業所の付近にどのような公共施設があり、どのようなイベント等が実施されているか、把握しきれていない部分がある。	市の広報やチラシなどを積極的に確認し、事業所として参加可能なイベントやボランティアに参加し、地域の方々との関わりを増やしていく。
3	利用可能な駐車場が少ない。	送迎車と職員の私有車の台数しか駐車するスペースがないため、保護者などを交えたイベントの実施が難しい。	事業所の近隣にいくつか病院があり、イベントの日程と休診日が重なったときは臨時的に病院の駐車場をお借りしている。